

セメント・同製品製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13~14	流し込み工場から工場外のヤードに製品を積み込み運搬する際、積み込みをする前にトラックの荷台の雪を掃こうとしたところ、雪（氷）に足を滑らせ転倒し、荷台から地面に落下してしまい、左手首を地面にぶつけ受傷した。	50	10~29
1	13~14	当社工場2階ミキサー室での作業を行ったあと、試験事務室へ向かうため階段を下降中、残り6段程度の部分で足を滑らし1階まですべり落ち、肘及び背中を打ち負傷した。	52	10~29
1	11~12	場内でベルトコンベアの上部のホッパー修理の為、ベルトの上で作業していた際にバランスを崩し、ベルトと鉄筋の間に左足が挟まり、宙吊り状態になった。	71	30~49
1	11~12	工場にて、ウイング車の荷台上で荷物の移動作業中、荷物の落下防止用の縁で足を躓き、荷台から転落した。	54	10~29
2	13~14	生コンクリート工場骨材ヤードにおいて、凍結した砂の影響によりホッパーが詰まりを起こしていた為、詰まった砂の状況確認をホッパー上部にて行う際、足元の砂が崩落したことで、試験員もホッパーに転落した。上半身胸部あたりまで砂に埋もれ圧迫により身動きが出来ない中、ホッパースチームから噴出される高温蒸気にさらされ両脚に熱傷を負った。	62	10~29
2	10~11	生コン配達現場で生コンの荷卸し後生コン車の後方のステップに昇り洗車作業を始めようとした時に、洗車用のポンプのスイッチを入れ忘れていたことに気付き、降りようとした時に生コン車フェンダー場でバランスを崩し舗装道路上に飛び降りる	67	—

		形になり左踵を強打し骨折を負う。		
2	15~16	産業廃棄物処理場に荷物を運搬し、積み荷を降ろすために荷台で作業中、あおり板に足を掛けたところ、あおり板が倒れ荷台から転落した。左腰を強打し、当日は痛みをこらえ就業したが、翌日になっても痛みが治まらないため受診した。	58	30 ~ 49
2	16~17	工場内の生コン車駐車場で運転席から後ろ向きで降りようとした時、下段足のせ(55cm)を踏み損ない後へ転倒し頭、腰等を打撲した。(ヘルメット着用。)	60	10 ~ 29
3	10~11	車輛を道路端に駐車して洗車作業をしているとき、足をステップから踏み外して後ろによろけ、道路脇の畑(落差約2メートル)に転落し、首を強打し、頸椎を骨折した。	50	10 ~ 29
3	16~17	ブロック荷物を3トン車でお客様へ配達し、車から降ろす作業中、ボデー上にてボデーの奥にあるブロックを抱えてボデーの端まで持ってきたところ、よろけて左足をアオリに引っかけてしまい、そのままアオリを乗り越えて下に落下し、左肩をコンクリートの地面に強く打ちつけ負傷した。	45	1 ~ 9
3	8~9	第1工場にて移動トロリーを動かしたところ、動作しなかった為、被災者が移動トロリーの位置が操作盤の位置にて、被災者がサーマルスイッチを投入後、動作スイッチを操作することを何度か繰り返したが動作しなかった為、被災者の指示により事務所にAを呼び行きBが向かった。Bが現場に着くと移動トロリーは動作しており、プラント側の停止位置に有った為、被災者と打ち合わせの為そちらに向かうが、本人がいない為10分程度待つが戻らないので、又工場に戻り確認するが不明の為、工事部へ移動するも不在、その間に第1工場の者がトラバーサーピットに倒れている被災者を発見し救急搬送した。	72	10 ~ 29
3	9~10	生コン車チャーター先の、マンション設現場にて、生コン荷降し後、生コン車後部のシュート部分を洗浄中に、当日雨であった為、高さ1, 2m程の高さから、生コン車バンパーに転落し、股間をバンパーで打った。	46	30 ~ 49
		砂貯蔵槽内鉄板の補修工事を行うため、貯蔵槽内を空にする必要があり、一部残量があった砂の抜き出し作業を行った。被災者は工事請負業者の監督者と二人で、砂貯蔵槽に入り作業を開始したが、作業の開始後別の作業道具が必要となった。監督		10

4	15～ 16	者は道具を取りに作業の場所を離れ、貯蔵槽を出た直後に突然槽内から発声があり、貯蔵槽上部より監督者が中を覗き込むと、残っていた砂が崩れており、砂の中に埋もれている被災者が視認された。なお、事故後、安全帯の装着は確認したが、安全確保策の形跡は確認できなかった。	37 ～ 29
4	14～ 15	コンクリート製品用鋼製型枠の踊り場（高さ1.5m）から足場台（高さ1.4m）を使用して降りようとしたところ足場台がぐらつき足場台天端より転落した。	57 ～ 29
4	11～ 12	生コン荷卸し終了後、現場内で洗車作業中にシュートバック内に溜まった洗浄水をドラムに戻す作業をし始めたところ、後部ステップの1段目に足をかけようとしたタイミングで手摺から手を滑らせたため、バランスを崩し地面に落下した（落下高さ約1m35cm）。左足から着地して両足が開く状態で膝をついた際、左股関節あたりを痛めた。	56 ～ 29
5	10～ 11	工場内の鉄筋加工場において、地上から約1.5mの高さで屋根の雨漏り修繕作業をしていたところ、登っていた脚立からバランスを崩して地面に飛び下りた際に左足踵を骨折した。	62 ～ 49
5	16～ 17	自分の担当車を洗車しようとしたところステップから落ちた。	37 ～ 29
5	16～ 17	工場内洗車場にて、洗車をするため、バックで洗車場に駐車し、エンジンを止めて運転席から後ろ向きで降りる際、ステップから足を滑らせ、約2m下のコンクリート床に転落し、腰、背中を打撲、骨折した。	44 ～ 29
5	16～ 17	開梁の型枠サイズ替え改造作業で、脚立（1.7m）に座りラチェットレンチを使い継手のボルトを一度締め込み、増し締めするためラチェットレンチにパイプを差し込みボルトを締め込んでいたところ、ラチェットレンチからパイプが抜けて脚立から落下し負傷した。	47 ～ 49
6	15～ 16	就業場所にて、残水を捨て終わり、大型ミキサー車の上部のホッパー脇のステップから降りる時、一番下のステップで足を滑らせ、手で手すりを掴んでいたが支えき	52 ～ 50

		れずに落下してしまった。		99
6	11~ 12	生コンクリートミキサー車ホッパー（生コンクリート投入部）の上部にのぼって、洗浄を終えて降りようとしたところ、車のステップの高さ1m位の所でバランスを崩し、左足の踵から落下した。	45	10 ~ 29
6	11~ 12	生コン車を会社敷地内に停めて、生コン積込口を洗おうとし、生コン後部の階段から上っていたところ、手摺りを掴み損ねて落下し、尻もちをついた。	70	10 ~ 29
7	14~15	コンクリート二次製品工場の製造場において、型枠の脱型をしている時に、型枠を固定しているボルトを締める作業中にラチェットレンチがボルトよりはずれ、高さ1m程の作業台より転落し地面に肩を強打した。	50	10 ~ 29
7	11~12	工事現場へミキサー車を運転して生コンを輸送後、現場でミキサー車を洗浄中、雨で濡れていたステップで足を滑らせ、地面へ落下した際、左肘をついてしまい骨折した。	62	10 ~ 29
7	8~9	生コン車で配達に行き現場の敷地外の空地より前進すべきところ操作ミスにより後方へ車両が動き10m下に転落した。	43	10 ~ 29
7	18~19	工場内で、作業終了後、車の運転席からドアを開けて降りようとした時、ステップの踏み外しによりバランスを崩して落下し、肘と頭を強打し被災した。	53	30 ~ 49
7	8~9	当日注文のあった生コンクリートを納入するためミキサー車で現場に出向き生コンクリートを荷卸し、注文数量を納入し終え、ミキサー車後方の車上ステップ2段目から降りようとしたところ誤ってステップを踏み外して高さ80cmから地面に落下、その時地面についた右手首を負傷した。	68	1 ~ 9
7	16~ 17	当社敷地内にてミキサー車の洗車作業中後部車体と5段目ステップで誤って足を滑らせてしまい高さ2m位の所から地面に落下して負傷したものである。	62	30 ~ 49
	15~	事務所内にてトラックの荷物の積み込みのため、荷台で作業していた際、ほうきに		1

7	16	つまずきバランスを崩し荷台より背中から落下した。落下した先にフォークリフトがあり背中全体を強打した。	45	～ 9
7	15～ 16	構内でミキサー車のフロントガラスを洗車するとき、前面バンパーに足を掛けて乗ろうとして、上部のステップ（取っ手）に手を掛けたとき、その取っ手が腐食（劣化）していて取れてしまい、高さ1m位から落ち、腰を打撲した。	65	～ 29
7	8～9	場内にて、生コン車に生コンを積込み後、ホッパ及び洗車用ノズルガンを取ろうとしてステップを登ったとき、急にめまいがして、コンクリートの地面に落ち、左足を捻り骨折した。	64	～ 29
7	9～ 10	当社工場から川に流れる排水溝の詰り具合を見るため、下に降り、さらに護岸ブロック伝いに川底へ梯子を下ろした。梯子を4、5段下り、排水口部分に垂れ下がっていた蔓を引いたときに、バランスを崩して約3m下の水面に足から落下した（水深60cm）。その際に川底の岩か、梯子か、堤防部分の護岸ブロックで強打したかは定かではないが、水から上がったあとに左膝に強い痛みを覚えた。	70	～ 29
9	16～ 17	事業所（工場）内のプラント清掃中に、階段を下りる際、滑って落ちて右肩を打撲した。	46	～ 9
9	8～9	当社工場内にてコンクリート製品改造作業中、攪拌ブロック（高さ2.2m横63m）の上部ピン穴にピン（ボルト）を取り付けようと脚立でブロック型枠上部に登り移動した所、足を踏み外し後ろ向きに2.2m下の地面へ転落し、腰部を打ち負傷したものの。	56	～ 49
9	15～ 16	コンクリート製品置場で、製品のシートの破れ箇所の補修作業を実施中、製品に乗りテープにて補修作業をしていた。作業が終了し製品から脚立Bを利用して下りようとしていた際、脚立の設置の安定が悪く又作業の補助者も不在であった。脚立に足をかけた際に脚立が転倒し、本人も転倒の際に右手より着地し、右肘を負傷してしまった。他の作業者も片付け作業のため当場所を離れており事故当時の目撃者は無かった。	35	～ 49
9	12～	工場内の車両洗車場にて、車両後部のステップに乗って車両を洗車中、ステップが	47	～ 10

	13	濡れていたため足を滑らせ、左ひざを打ち負傷した。		29
9	10～ 11	工場内にて、生コン車を洗車後、ステップを降りフェンダーに足をついたところ、足がすべり地面に落下し負傷した。	46	10 ～ 29
10	7～8	工場の骨材置場、前面側のカーテンを開く時、カーテンのフックを外すため、脚立で3mの所のフックを外した後、風でカーテンが煽られ脚立ごと地面に倒れた。いつもは、脚立を抑えてもらい作業をしていたが、2ヶ所あるフックを風が強いので、いつもとは逆に上から外したため一人作業になった。	67	10 ～ 29
10	8～9	資機材倉庫内で、資材の片付け作業をしているとき、車の荷台から資材を荷降し中に雨で濡れた車の荷台から資材を降ろそうとして足を滑らせて1.5m下の土間コンクリート上に頭から落下した。ヘルメットはしていたが、あご紐が掛けられていなかった為、落下時にはヘルメットが外れた状況であった。	60	50 ～ 99
10	9～ 10	ハンマーにて水抜き管の詰まりを解除後、コンクリート擁壁上を伝って点検座まで移動中、擁壁上に堆積していたスラッジで足を滑らせ4m下の地面に転落し被災した。	53	1 ～ 9
10	16～ 17	ブロックマシーン使用後の清掃中、砂ホッパー内を掃除しようとしホッパーとホッパー格納庫の隙間（幅20cm×長さ2m×高さ2m10cm）に落ちた。	54	10 ～ 29
11	9～ 10	製造現場において、昇降梯子を設けていないボックスカルバート1000×700の型枠の組立作業で、型枠にのぼる時に、普段は気付いているはずの型枠保管用固定金具の突起部に長靴が引っ掛かり、体勢を崩し型枠から落下した。落下する際に、隣の型枠に背中を強打し肋骨を骨折した。	46	50 ～ 99
11	7～8	製品堆積場において、防火水槽端板の堆積作業中、フォークリフトに備え付けの足場台に乗り、吊金具を取り外し終えた時に、停車していたフォークリフトの駐車ブレーキの利きがあまくなっていたことで、後退し始め、リフトが製品から離れてきたため転落の危険を感じ、高さ1.8mの足場台から飛び降り、左踵骨を骨折した。	60	50 ～ 99
				30

11	7~8	自社駐車場にて大型生コン車の始業点検中、運転席から降りようとした際、一番下のステップを踏み外して背中から落下強打する。	58	~ 49
12	5~6	屋内作業場よりハイド板付タイヤショベルを外に出す際、シャッター内側（強風破損防止）の縦に挿し込んでいた木材タルキを取り外す為ハイド板の上に登り取り外そうとしたが抜けなかったのでハンマーで叩いた拍子に滑ってコンクリート土間に落ち腰と肩を強打した。	61	10 ~ 29
12	12~13	現場での生コンの荷降ろし終了後、残った生コンを生コン車上部のホッパーより戻し、ステップを下りる際に足を滑らせ、2m20cm位の所から落下し、左腕を骨折した。	60	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html